

登録有形文化財（建造物）の登録について

平成 29 年 7 月 21 日（金）に文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の文化財の登録が文部科学大臣に答申される予定です。今後、官報告示を経て、登録されることになります。

【答申予定の登録有形文化財（建造物）1 件】

名 称	員 数	所 在 地	所 有 者	建 築 年 代
福井市自然史博物館旧館 （旧福井市立郷土博物館）	1 棟	福井市足羽上町 147-1	福井市	昭和 27 年

福井市自然史博物館旧館（旧福井市立郷土博物館）

・所在地 福井市足羽上町 147-1

・所有者 福井市

・年代 昭和 27 年（1952 年）

・登録基準 造形の模範となっているもの

・特徴

福井市自然史博物館旧館は、福井大空襲や福井大地震後、昭和 27 年に「福井復興博覧会」の中心施設として足羽山山頂に建てられた。博覧会后、福井市立郷土博物館として開館した。

建物は鉄筋コンクリート造 3 階建、地下 1 階付で、動植物や鉱物の展示室、屋上には白山を望む展望台と天体望遠鏡を備えた天文台を設ける。外観は正面の玄関庇や 2・3 階の窓枠を横長にとり、正面右手の階段室には縦長の大きなガラス窓を設け、水平・垂直性を強調したモダンな意匠である。

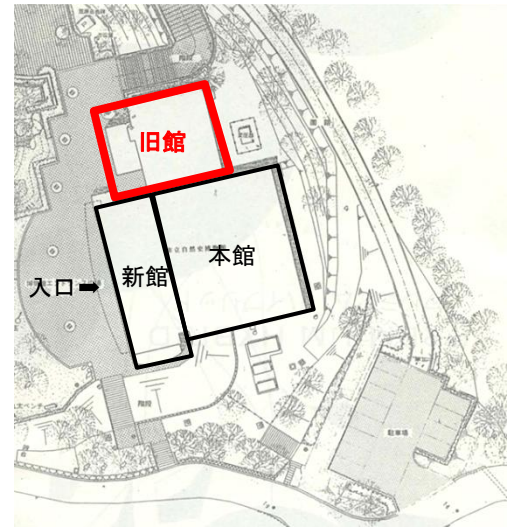
昭和 56 年に本館を増築し、平成 4 年には新館を増築、名称を「福井市自然史博物館」に改めた。

福井市街からも姿を望め、福井市における戦災・震災復興のシンボルであり、現在も自然史博物館として市民に親しまれている。





位置図



配置図



旧館（左）と新館（右）



2階展示室



屋上の天文台



福井市街から博物館を望む